

株式会社富士ピー・エス・株式会社まちのわ
スマホで地域住民参加型の橋梁維持管理とデジタルポイントの付与による地域活性化

【分野】 道路 / **橋梁** / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）
【手法】 コンセッション / その他のPFI / **包括的民間委託** / その他（ ）

地域住民が提供してくれた情報をもとに、地元企業が橋梁の点検と維持管理を行う事業のご提案です。

協力してくれた住民の皆様へ「デジタルポイント（地域通貨）」を付与することで、地域の活性化に繋がっていきます。

①提案によって解決する地方公共団体が抱える課題イメージ

◆橋梁は5年に1度の定期点検が行われているが、地方自治体による日常的な点検は人手不足で困難



地域住民の協力で、橋梁の日常的な点検・維持管理が可能

◆人口減少や少子高齢化の影響で地域の消費が減少し、地域経済が衰退



地方自治体 + 地元企業 + 地域住民のコラボで地域経済の活性化を促進

②提案の概要

スマホアプリを活用して、橋梁の維持管理と地域の活性化を後押し

- ①地域住民と地元企業による橋梁の日常的な点検・補修の実施
- ②地域住民への対価として、地域で使えるデジタルポイントの付与

地域住民からの通報

橋面上で気付いたことをアプリの写真機能を利用して通報

※橋の下面や側面からの撮影投稿は、住民の危険な行動を伴う恐れがあるため対象外とします。

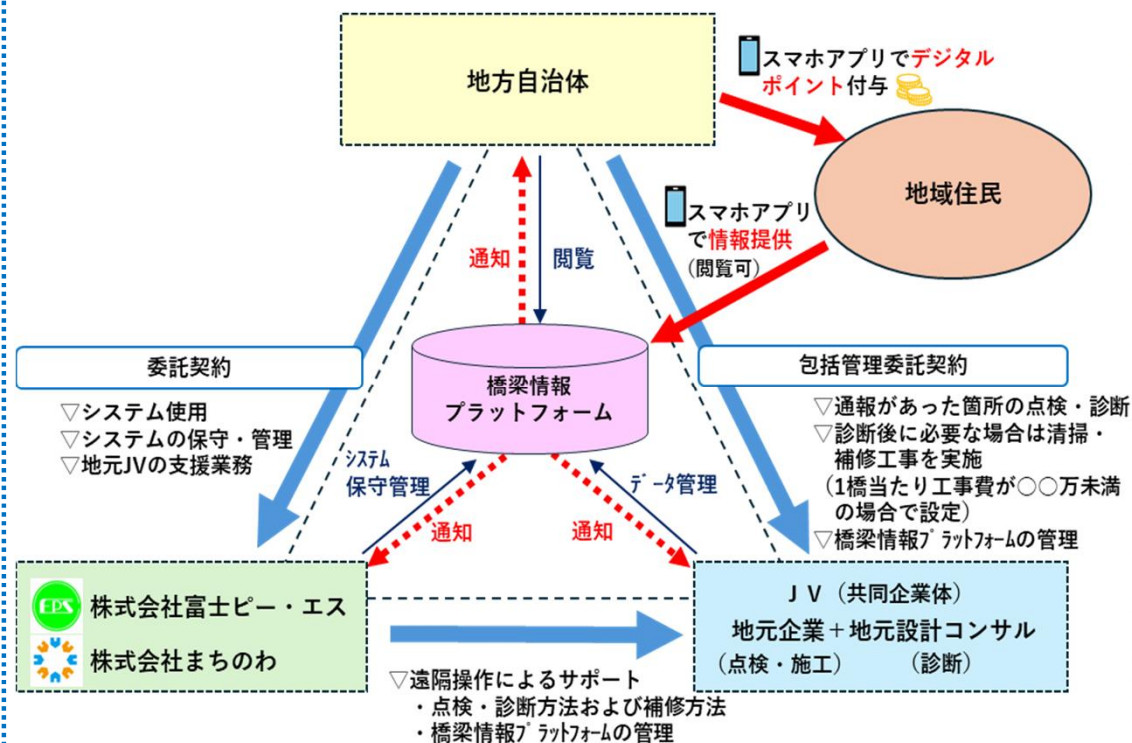
(通報例)

- ・水が溜まっている
- ・排水枳のところに土（泥）が溜まっている
- ・草（コケ）が生えてる
- ・高欄（ガードレール）が壊れてる
- ・舗装やコンクリートにひび割れがある
- ・舗装に穴が開いている、轍（わだち）がひどい
- ・暗い（照明が切れてる）

日常的な点検・清掃・軽微な補修

橋梁の長寿命化、住民の安全確保に寄与！！

【事業スキーム】



②提案の概要

【アプリのイメージ】

■ 運用の流れ — 地域住民の参加型で、地域の橋梁の安全・安心を皆で「見守る」 —

橋梁の老朽化箇所を撮影



住民が地域内の橋梁で老朽化や劣化している場所を見つけ、スマートフォンで撮影する。

情報プラットフォームへ投稿



撮影した橋梁の個所の写真を橋梁情報プラットフォーム上に、SNSで共有する感覚で投稿。

投稿時に場所をマップ上で指定



投稿先の橋梁情報プラットフォーム上では、マップ上で位置指定できる。
(=橋の名称などは不明でも良い)

情報プラットフォーム上で、住民からの投稿が総覧



投稿された情報は、総覧・検索可能。管理者がプライバシーを判断できる。また、投稿に添えられた住民コメントも有効活用。投稿発生時はポップアップ等で通知。

住民へのインセンティブ



投稿者には、地域内で利用できるデジタルポイント(地域通貨)を付与。域内経済の活性化にも貢献。

※注：本提案においては、株式会社まちのわの地域電子ポイント(地域通貨)プラットフォームに、株式会社Liquitousのオンライン投稿プラットフォーム「liqid」を連携してサービス提供します。

■ 提案の新規性

- ・「LINE」などを利用し、地域住民に異常を報告してもらうサービスは既に導入事例があるが、ポイントインセンティブを付与しての事例はない（※2024年2月現在（株）まちのわ調べ）
- ・投稿インセンティブである「デジタルポイント（地域通貨）」は、消化して消滅する予算ではなく、域内経済の活性化にも資するものとして域内循環を生み、活かすことができる
- ・位置情報付与しての投稿や総覧性は、橋梁点検だけでなく、地域住民と自治体を繋ぐプラットフォームとして幅広く活用できる可能性がある（自治体部局で事業予算をシェアリングすることによるコストカットや、部局間を横断した情報連携なども検討できる）
※例：防災、高齢者見守り、地域のお勧めスポットのレビュー集約、パブリックコメント、産官学民の交流等・・・地域コミュニティによるディスカッションなど
- ・「わがまち」の地域コミュニティの中で課題解決することによる、住民における自己効力感や、地域への参加意識の醸成など主体性の喚起
- ・複雑な通報システムではないため、自治体職員や関係企業におけるシステム習熟や運用負荷が軽減される
- ・各地域の実情に応じた運用体制の設計とご提案
- ・「株式会社まちのわ」が地域商品券サービスを展開している地域であれば、そのレガシーを活かすことも可能（※関係者間協議の上で実施となります）

③課題解決のイメージ・効果

◆橋梁の予防保全の充実化

⇒大事に至る異常を早期に発見し、老朽化を遅らせることができる

◆快適・安全なまちづくり

⇒景観の維持、事故防止（ひび割れ、堆積土、草、こけ等のスリップや転倒など）

◆地域活性化

⇒デジタルポイント（地域通貨）を発行し地域経済を活性化させる

その他

- ◆莫大な費用をかけての一点検ではなく、地域住民の協力により低予算で始められる。
- ◆地域住民がリアルタイムに橋梁の状況を伝える仕組みで、情報の鮮度が比較的高い。
- ◆大規模修繕や緊急工事が必要となる前に適切なタイミングで予防保全を実施できるため費用削減に寄与する。

会社名：株式会社富士ピー・エス 担当部署：土木本部土木営業企画部
会社名：株式会社まちのわ

担当者：平山直樹
担当者：木下高志

連絡先（電話番号）：092-721-3468
連絡先（電話番号）：092-985-6430

メールアドレス：n.hirayama@fujips.co.jp
メールアドレス：Takashi.Kinoshita@machinowa.co.jp